

NEWS 連合千葉

日本労働組合総連合会
千葉県連合会(連合千葉)

発行人 中島正敏 編集人 田嶋邦夫
〒260-0013 千葉市中央区中央4-13-10
千葉県教育会館 新館6階
TEL 043-201-2022 FAX 043-201-2023
No.218 2025年2月

https://chiba.jtuc-rengo.jp/

2025年度 連合千葉「経営分析講座」開催報告

12月14日(土)9時45分から16時30分までTKP千葉駅東口ビジネスセンターにて、大川 守氏(j.union株式会社取締役)を講師に招き、「経営分析講座～春闘勉強会～」を開催しました。

本講座は、春季生活闘争における中小・地場組織等、自社の経営状況を分析する知識を身につけることで、収益の適正な配分を追求していくことに加え、労使交渉・協議の進め方についての交渉力強化を目的に開催しました。今年度においては、各構成組織・地域協議会より24名が受講しました。

講座では、「経営状態から考える要求根拠の考え方」や「労使交渉・協議の進め方」について講義を受け、「経営分析の役割(賃上げや支払い能力調査、経営のチェック機能など)」について学びました。

今後は、参加者からのアンケート結果を踏まえて、より多くの参加者となるよう、講座内容や募集方法など、さらに充実した講座の開催をめざしていきます。



講座の様子



連合千葉 永富会長 年頭あいさつ

あけましておめでとうございます。
昨年は能登半島地震、翌日の羽田空港での航空機事故という大変痛ましい事象からのスタートでした。能登半島地震は未だ復旧・復興の最中ではありますが、穏やかな年頭を迎えられたことに安堵するところです。

今年は、昭和100年、戦後80年、阪神淡路大震災から30年、京都議定書発効から20年、男女雇用機会均等法制定から40年など、さまざまな節目の年となります。それぞれ連合運動にも係わるものも多く、触れなければならないところですが、先人のみなさまの努力やご苦労によって今を迎えているという思いを馳せていただき、私からは、今年多くの運動資源を費やすであろう2点に絞って決意の一端を述べ、年頭のあいさつに代えたいと思います。

まずは春季生活闘争についてです。昨年の2024闘争では、33年ぶりとなる5%台の賃上げを実現したものの、物価高による家計の圧迫、中小企業や非正規形態で働く人まで賃上げが波及していないことなど、生活が向上したと実感している人は少数に留まり、個人消費も低迷している状況にあります。長く続いたコロナ禍から経済も回復基調になってきた一方、実質賃金のマイナス傾向が続き、職場では人手不足も深刻です。将来まで見据えた人への投資と生産性向上は待たなしの状況です。2025春季生活闘争は「賃金も物価も上がらない」という社会的規範：ノルムを変え、経済の好循環を実現するのは今、という強い決意のもと、労使での取り組みの成果が働く者全体に波及し経済発展の原動力とする機運の醸成により社会のうねりを創り出すことに取り組めます。とりわけ企業規模や雇用形態など格差是正が喫緊の課題です。適正な価格転嫁が途上にあることからすれば、実効性のある政策資源の投入や消費者への理解など、国や自治体の後押しも欠かせません。



連合千葉 永富会長

千葉県では「ちばの魅力ある職場づくり公労使会議」をはじめ、県内公労使による価格転嫁や生産性向上に向けた取り組みをオール千葉で推し進めています。引き続き社会対話や世論喚起など、構成組織・地域協議会とも力を合わせ取り組む所存です。

二つ目は政策実現に向けた政治活動についてです。昨年の衆議院議員選挙では、政治への期待や信頼の失墜が民意として示され与党が過半数割れとなりました。国民目線の政治という「当たり前」によろしく一歩前進したと思うところです。連合が掲げる政策実現に向け立憲民主党と国民民主党には大きく期待いたします。県下では、千葉県知事選挙・千葉市長選挙をはじめ多くの自治体選挙が執行されます。さらに、7月に執行される参議院議員選挙では、全国比例で現職・新人の組織内候補が多く出馬する予定です。私たちの生活に直結する税や社会保障など、労使協議の範疇を超える政策の実現には政治の場へのアプローチは欠かせません。そのためには各級議会をはじめ私たちが掲げる政策の理解者を増やしていくことが極めて重要になります。連合が政治活動を行う意義を共有しながら取組んでまいりますので、格段のご協力をご理解をお願いいたします。

結びに、連合千葉に集う仲間とともに、すべての働く者と生活者の幸せと発展に向け取り組む決意とともに、みなさまのご健勝とご多幸をご祈念し年頭のあいさついたします。ともに頑張りましょう!

開催予告!

連合千葉 2025春季生活闘争総決起集会

日時：2025年3月1日(土)
14:00～16:30頃
場所：千葉市中央公園

※中央公園集会后春闘アピール行進を実施



教育フォーラム

ちば2025

子どもたちの健やかな成長のために
～多様性の時代 家庭・学校教育のアップデート～

2025年 3月8日(土) 開催決定

講演 演題 「これからの教育の在り方
～多様性とウェルビーイング～」
講師 鈴木寛氏(東京大学教授・慶応義塾大学特任教授)

第18期 連合千葉 本年もよろしくお願ひ致します

オファサーバー	女性代表執行委員	執行委員	会計監査長	事務局長	事務局長	副会長	会長																										
中村雅洋 (全建連)	石田未奈 (U-エッセン)	石川久展 (自治労)	渡邊久展 (JEC)	松崎慶徳 (電力総連)	坊野陽平 (U-エッセン)	古川孝一 (全電線)	野田泰造 (政労連)	戸畑賢次 (J-労連)	津崎涼太 (自動車連)	田中貴幸 (F1D)	高橋大輔 (基幹労連)	杉谷晋平 (全労金千葉)	菅博一 (J-労組)	佐藤悠介 (航空労連)	櫻井昌夫 (私鉄総連)	岡田麻美 (JAM)	岡里憲一 (全自交)	伊藤貴義 (運輸労連)	石井浩巳 (国公連)	山口昌宏 (JEC)	細野健人 (航空労連)	滝本明良 (U-エッセン)	等々力康広 (基幹労連)	小嶋邦夫 (基幹労連)	横山正敏 (電機連)	宮内平光 (私鉄連)	平野盛士 (F1D)	鶴岡規晃 (基幹労連)	曾我一樹 (U-エッセン)	関根喜一 (情報労連)	鈴木明司 (J-労組)	伊藤成司 (電力総連)	永富博之 (自動車連)

連合千葉「2025年新春の集い」を開催

2025年1月8日(水)15時から、オークラ千葉ホテルにおいて「連合千葉2025年新春の集い」を開催しました。

来賓はじめ連合千葉執行部と地域協議会代表者など300人の皆さまにご参加いただきました。

永富会長の主催者挨拶に続き、千葉県知事、立憲民主党代表、千葉市長、千葉労働局長、千葉県経営者協会会長、連合千葉議員団会議、立憲民主党県連、国民民主党県連の各代表から来賓祝辞を受けました。

その後、永富会長を中心に、熊谷様(千葉県知事)、神谷様(千葉市長)、岩野様(千葉労働局長)、三枝様(千葉県経営者協会会長)、天野様(連合千葉議員団会議会長)、小谷様(中央労働金庫千葉県本部常務理事)、林田様(こくみん共済coop千葉推進本部本部長)、大屋様(千葉県退職者連合会長)による鏡開きにつき、連合千葉関口副会長の発声により乾杯が行われました。

また、本新春の集いには、連合千葉推薦の衆議院議員、参議院議員の方々をはじめ各級の推薦議員や、各界各方面から多数の来賓の方々に参加いただきました。その後、各地域協議会の代表者の紹介を行い、最後に、連合千葉横山副会長からの締め挨拶で閉会しました。



乾杯



来賓



地協議長挨拶



国会議員挨拶



会場の様子

2025 連合芳野会長 新年の挨拶

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
連合運動へのご理解とご支援をいただき心より御礼申し上げます。

今年には戦後80年です。先の大戦を経験された方々は少なくなり、その実相を伝える役割は次の世代へと移っています。私たちが果たすべき役割をいま一度見つめなおし、行動に結びつける一年にしましょう。

近年の賃上げの成果により、「賃金は上がる」という新たな社会的規範ができつつあります。動き始めた賃金や物価を「巡航軌道」に乗せ、再び停滞させることのないように、2025春季生活闘争を精一杯、取り組んで参ります。

また、連合ジェンダー平等推進計画はフェーズ2に移行しました。世界は男女同率での活動への参画が当たり前になっています。“203050”の目標達成に向けて、残り5年しかないという危機感を持ち、力を尽くして参ります。

労働組合の組織率の低下に対し、連合運動はその活動領域の幅を広げていくことが必要です。多様な方々と積極的に対話と連帯を進めて、労働組合の価値を高め、多くの仲間が集い、互いに協力し、より良い職場や社会をつくることに努力する一年にして参りましょう。

本年も皆さまにとって実り多い一年となりますことを祈念いたします。



日本労働組合総連合会
会長 芳野 友子

連合千葉 青年委員会 2025年度 定期委員会・研修会開催

2024年12月7日(土)千葉県教育会館303会議室にて、連合千葉青年委員会2025年度定期委員会並びに研修会を28名の参加で開催しました。

2025年度定期委員会では、司会の杉谷幹事(全労金千葉)より開会挨拶がなされ、主催者を代表して小林委員長(基幹労連)から挨拶があり、続いて来賓としてご臨席いただいた、永富会長より挨拶を受けました。2024年度活動報告として、庄司事務局次長(JR総連)より青年委員会の諸活動について報告しました。議事では、第1号議案として、長谷事務局長(情報労連)より、連合千葉に結集する若年組合員が互いに意思疎通を図ることで、更に連帯を強め、連合千葉の組織強化を意識した取り組みを企画・実践することを柱とした2025年度活動方針を提案し、第2号議案におきましても長谷事務局長より新役員体制を提案し満場一致で確認されました。

最後に、青年委員会を活性化する観点から、役員選出や各種研修会・行事への積極的な参加をお願いし、小林委員長の団結ガンパローを行い閉会しました。

研修会では、株式会社ヒューマンコメディックスより殿村 政明様を講師に迎え、「芸人の舞台裏から学ぶ笑いのコミュニケーション～笑いとは大人の上質な気配り～」と題してご講演を受けました。笑いのあるコミュニケーションを取るために必要な話し方や聞き方について、初対面同士実践することで新しい発見やあるべき姿を楽しく学び、有意義な研修会となりました。



殿村講師



身振り手振りを用いて笑いのある会話を教える殿村講師

【2025年度 青年委員会 役員体制】

役職	氏名	産別
委員長	小林 俊介	基幹労連
副委員長	北村 拓也	電力総連
事務局次長	長谷 健司	情報労連
事務局次長	庄司 健人	JR総連
幹事	細谷 直人	全労金千葉
幹事	大野 風雅	自治労
幹事	宮内 翔平	全国ガス
幹事	島田 涼	J P 労組
幹事	北澤 嘉紹	JAM東京千葉
幹事	三田地 瑛太郎	電機連合
幹事	橋本 大弥	県私鉄
幹事	藤野 翔太郎	航空連合
幹事	五十嵐 修平	自動車総連

連合千葉 女性委員会 2025年度 定期委員会・第3回研修会開催

2024年12月7日(土)千葉県教育会館203会議室にて連合千葉女性委員会2025年度定期委員会・第3回研修会を48名の参加で開催しました。

連合千葉女性委員会の2024年度の活動実績および2025年度の活動方針を確認する場として開催しました。冒頭、連合千葉女性委員会を代表し、松崎委員長(電力総連)より、本研修会の主旨および世界で低位にある日本のジェンダーギャップ指数の現状の認識共有についての挨拶を受けた後、連合千葉を代表し、永富会長より挨拶を受けました。議案では2025年度の活動方針ならびに役員体制について賛成多数で可決されました。

定期委員会終了後、第3回研修会としてシンシアカラーズカラーコンサルタント武田実佳氏の進行による「パーソナルカラー」のセミナーを受け、参加者全員のカラー診断を行いました。



参加者全員のカラー診断

【2025年度 女性委員会 役員体制】

役職	氏名	産別
委員長	松崎 菜津美	電力総連
事務局次長	長谷川 麻奈美	J P 労組
幹事	長谷部 亜紀子	千教組
幹事	菊地 ひかり	情報労連
幹事	近藤 なぎさ	全労金
幹事	薦田 朋子	航空連合
幹事	竹原 里実	自治労
幹事	安田 明美	基幹労連
幹事	館野 千恵子	電機連合



集合写真